

異文化の体験によるデザインgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年05月24日 ～2024年06月03日	大韓民国	蔚山大学 国民大学 蔚山科学技術大学校 崇城大学	・デザイン工学科、機械工学 専攻 ・学部3年生、学部4年生、修 士2年生、修士1年生	(芝浦工業大学) 学生28名、学生バイト4名、 教員1名 (蔚山大学) 学生25名、学生バイト2名、 教員4名 (国民大学) 学生30名、学生バイト2名、 教員2名 (蔚山科学技術大学校) 学生10名、教員1名 (崇城大学) 学生10名	梁 元碩(デザイン工学科)



図1 アップサイクル施設の見学

5月23日から6月3日まで韓国で2つの協定校とgPBLを行いました。ソウルでは国民大学・延世大学(30人)と本学の32名の学生と4日間、蔚山の蔚山大学(25名)、熊本の崇城大学から10名が参加して6日間デザインワークショップを行いました。ソウルではリサイクル施設を見学して、廃材料の確保、保管、共有から再利用までのプロセスを見学させてもらい、そのから新しいデザインへの応用するアイデアを提案しました。また、蔚山大学では、予測というテーマで何かの現象から未来を考えるテーマで様々な提案を行いました。慶州での世界遺産の見学、釜山でのフィルードトリップも行い、異文化に対する理解が深まる機会になりました。



図2 KUMU集合写真



図3 KUMUワークショップ様子

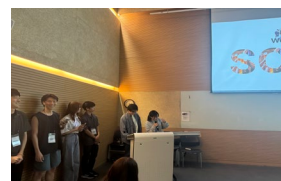


図4 最終発表会



図5 世界遺産の見学(慶州)



図6 UOUオープニング

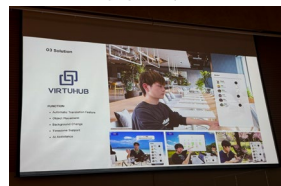


図7 最終発表会